

苦勞は買ってでもせよと言います。苦しみを乗り越えた者だからこそ人に優しくできるのでしよう。

国立大学に合格するのは大変なことであります。共通テストでボーダー以上の点数を獲得し、その上で各大学の二次試験に挑まなければなりません。以前、共通テストで750点近くをとった生徒がいました。二次試験も手ごたえがあり、合格できると確信していたのでしよう。明正のパソコンで発表を見ることとなりました。当然、私も合格するものと思っていますから「おめでとう」の言葉しか用意をしていませんでした。ところが、受験というものは怖いもので、合格者の番号の中にその生徒の番号がないのです。生徒は泣き崩れ、私も一緒に泣き崩れてしまう始末。前期がだめでも後期に向けて頑張るよう励まさなければならないのに、私が落ち込んでしまったのです。ひとしきり泣いた後、その生徒は「前期で受からなかったんやから、更に倍率の高くなる後期もだめに決まっとる。後期は受けやん」と言い出しました。その生徒の様子を見て、今この状態で何を言っても無駄だと思い、私はそれ以上言いませんでした。幸いにして、学校の先生から「後期の申し込みは済んでいるし、受験料ももったいないから受けるだけ受けてきたら」と勧められ、同じ大学の後期試験を受験して来ました。そして何と後期で合格したのです。

前期でだめだと本当に落ち込むんです。そこで気を取り直して後期に挑む。その苦しみを知っているので、後期で合格したという知らせを聞くと涙が出てしまうのです。今年も後期試験まで頑張りぬいた生徒がいました。その生徒が、私の中学二年生の授業中に合格を知らせに来てくれました。私はもう少しで声を出して泣きそうになり、必死でこらえました。思い起こせば小学生の時、授業中床に寝そべっていたやんちゃ坊主、立派に成長してくれました。

受験を乗り越え、新たな環境で学ぶ皆の未来が、希望に溢れたものになるよう祈っています。

- 国立高校合格者
- 津商業高校 (ビジネス科)
- 豊田 姫風
- 四日市農芸高校 (食品科学科)
- 平野 里莉
- 鈴鹿工業 高等専門学校 (材料工学科)
- 仲陽代里 (電気電子科)
- 佐野 聡太
- 津西高校 (普通科)
- 佐野 聡太
- 常恒 有沙
- 横山 輝
- 神戸高校 (普通科)
- 萩原 伊咲
- 四日市南高校 (普通科)
- 仲陽代里 (普通科)
- 国立大学合格者
- 三重県立 看護大学 (看護学部)
- 坂口 藍理
- 愛知県立大学 (外国語学部)
- 伊藤 紗瑛
- 滋賀大学 (経済学部)
- 鈴木 遥翔

4月29日(土)、5月3日・4日・5日の祝日は、全クラス休塾です。

【英検】申し込みしめきり 4月25日(火) ※しめきり厳守

検定日 6月4日(日) 二次試験 7月9日(日)

連絡事項